

あすなろ保育園 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

【一年間の総括】

社会福祉法人福島愛育園が運営する保育施設として、「全国保育士倫理綱領・保育所保育指針・幼稚園教育要領」を基盤に、創始者の精神を継承・遵守し、自園の事業計画に基づき保育を展開した。

最大の難局2度の新型コロナウイルスの感染拡大によるグループ閉鎖を余儀なくされる中、閉園をせずに運営することができた。コロナ禍の中で、子どもの最善の幸せのためにどのような保育を展開するか、安心・安全を最優先しながら、創意工夫して多くのことを「中止」するのではなく、形式を変え実現可能にした。さらに、新たな取り組みを実践して経験値を低下させず、目の前の子どもの発育・発達の責任を全うするために努力した一年間だった。

具体例として、①各種消毒の徹底②3歳以上児のマスク着用③密を防ぐ(給食時はパネルを設置・トングの使い回しをしない・食事間際までマスク着用など)④検温(回数増)⑤送迎時の玄関受け入れ(3月からはお迎えの時のみ保護者入室を可能とした)⑥コロナ感染拡大予防にできるかぎりグループなど分かれての保育⑦各種イベントは、グループごとに少人数で行うことで保護者も参加できるようにした。

また、職員の健康管理にも十分配慮して、①出勤時検温②体調不良時の申告③家族の体調変化時の休暇④出かけた時の報告等々、遺漏の無いように資した。私たちの行動が子どもへ影響することを全職員が理解して対応した。

※8項目の重点事業を踏まえ、活動状況を以下の数値等で集約して示す。

(運営の理念・重点事業・保育目標等は、しおり参照)

1 質の高い保育内容と保育活動の展開(保育園の現状)

今年度のテーマ「EarthなるPeace～愛・SUN・SUN～」 “平和な世界で一人一人が幸せに”の願いを込め保育活動を繰り広げた。

「ピンチをチャンスに」出来ないことを嘆くのではなく、今だからできることを増やした。

(1)月別入所児童数および充足率(定員60名) 令和5年3月31日

単位:人 / %

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
1・2歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
3歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
4歳以上児	29	30	30	31	31	31	31	31	31	31	31	31	368
合計	64	65	65	66	66	66	66	66	66	66	66	66	788
充足率 %	106	108	108	110	110	110	110	110	110	110	110	110	平均 109

(2)月別保育日数 令和5年3月31日

単位:日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	25	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	293

(3) グループ別園児数 令和5年3月31日

単位:人

ほーる&へや	ほっとけーきの おへや	ぐりーんほーる		みみずくほーる		ぷりんのおへや		
		グループ名	びゅーま	ちーた	しまりす	ぼんび	ぼにー	うさぎ
年齢	5歳	4歳	3歳	2歳	1・2歳	1歳	0・1歳	0歳
男	4	6	6	3	3	1	3	1
女	12	9	6	2	3	5	1	1
合計	16	15	12	5	6	6	4	2

(4) 園児地域別一覧 令和5年3月31日

単位:人

地域	人数	地域	人数	地域	人数	地域	人数	合計 66
1.蓬 萊	18	6.伏 拝	2	11.大 森	1	16.永井川.	1	
2.黒 岩	9	7.腰浜町	2	12.小倉寺	1	17.荒 井	1	
3.松 川	15	8.新浜町	2	13.太平寺	1	18.飯 野	1	
4.田 沢	4	9.清水町	1	14.御倉町	1			
5.南向台	3	10.鳥谷野	2	15.渡 利	1			

蓬萊地区を中心に18の広範囲にわたっている。

<卒園児 16名>

蓬萊小学校:1名/蓬萊東小学校:3名/松川小学校:1名/杉妻小学校:4名/
第一小学校:1名/大森小学校:2名/南向台小学校:1名/飯野小学校:1名/
桜の聖母小学校:2名

(5) 延長保育促進事業

①延長保育 朝(6:55~8:00)

単位:延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
391	393	466	418	443	449	453	357	363	318	405	448	4,904

②延長保育 夕(19:00~19:30)

単位:延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	13	12	24	11	16	13	13	14	21	15	13	174

11時間の標準保育以外の延長保育利用者数は、園児66名の内、毎朝20名ほど、8時30分には9割の園児が登園する。夕方のお迎えが早く、延長保育利用者(夕)は少ない。19時30分になっても迎えがこないケースもあり、19時30分以降にも保育園を閉めることができない状況がある。

2 保育環境の整備

“自然との共存”のテーマのもと、戸外活動の充実を目標の一つに掲げ、自園の特徴としている遊び場の「みどりのおへや」を整備している。土手を走る・丸太ステップ・ロープ登りなど全身を動かし体幹を鍛えた。

大型遊具のネットの修繕や、室内での感染防止策に網戸を増やし換気の徹底ができるようにした。

2年間にわたって行った、LED化の工事が完了した。今後も必要に応じた環境整備を実施していく。

3 食育活動を通しての子どもの健康管理推進

子どもの笑顔(命を守る)＝健康で順調な成長(発育)の根幹となる食事に関して、栄養士を中心に個別の離乳食・アレルギー食等の提供と、毎月恒例の「アートクッキー」は、自園のオリジナルで好評を得ている。“作って食する実体験”を目指し、農園でトマト・きゅうり・シソ・大豆等を栽培、園庭ではバケツを利用した米の栽培も行った。お泊り保育では、非常食カレー作りに挑戦。ポリ袋に食材を入れてお湯の中に入れる災害時にも役に立つポリ袋調理を行った。このことはとても印象的で、「楽しかったようで家庭でも作ってみたい」と保護者からも話があがった。

4 子育て支援拠点事業を通しての地域児童の「幸福の希求」(どんぐりひろば)

(1)総括

コロナ禍で園児の保護者が入室しない状況の中、不特定の親子が園内に入室することに不安感はあるが、巣籠もり状態の子育て中の親子のため、包括的な支援が求められている。しかし、コロナ感染が流行した月は感染拡大防止のため、支援センターの利用を制限せざるを得ない状況となった。感染が落ち着いてからは、1日3組を限度とし、密を避けて少人数で実施した。

(2)事業の内容

①子育て親子の交流の場(どんぐりクラブ)

園庭や支援センター“おむらいすのおへや”開放(どんぐりひろば)・担当者のカリキュラムでの活動。

②育児講演会・講習会(どんぐりやまセミナー)

園の職員(社会的資源)の個性を活かしたバラエティに富んだ講座を提供した。

③子育て相談(電話・面接) 相談内容はかなり複雑化している。

④出前支援 専門の指導者を招聘して「リトミック」を実施し好評を得ている。

5 一時預かり事業(ちょうちょクラブ)

単位:延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17	6	24	13	19	8	9	2	6	7	9	39	159

保育園に入園できない待機児(特に0・1歳児)の利用希望者が多い。コロナの感染状況などが影響し利用者数は少なかった。

6 放課後児童健全育成事業(とんぼ学童クラブ)

単位:延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
868	804	964	840	820	789	859	814	752	704	803	938	9,955

個別対応の児童が多く、日々丁寧に関わっている。担当職員だけではなく園担当職員もサポートに行くなどの負担を課している。学校との連携も重要になり、低学年担当教諭を中心に問題傾向の内容を話し合った。毎日利用する年契約だけでも48名おり、日割りを含めると69名の登録数となる。4年生以上の利用が多く低学年が待機児にならないように努力が必要である。

7 家庭・地域・保育園が力を合わせてのネットワーク作り

月2回以上の園便り「あすなろっこ」と、支援センター便り「どんぐりひろば」を発行して地域に情報を発信した。地域の小中学校とも連携を深めるために、同様に「とんぼニュース」を学校宛に配布した。また、養成校の依頼を受入れ、実習及び就職セミナー等、未来の専門職の育成にも寄与した。

8 インターネットのホームページによる情報の公開

毎月10日頃を目安に更新して最新の情報を提供した(アクセス数は現在30,303回/昨年度29,980回)。